

## 学校再開にあたって

3月の突然の学校休業から、私たちは、今後教科書で学ぶような社会の変化を経験してきました。

そのような中、学年末の通常業務に加え、オンライン学習の準備、学習プリントの作成など児童生徒の学習や生活への支援、卒業式や修了の会の運営変更など前例のない事態にも関わらず、創意工夫し対応していただきました。

さらに、本来業務ではない、学校における児童生徒の一時預かりへの対応を全小・中学校で協力して行っていただきました。戸田市の子供たちのために力を尽くしていただいた教職員の皆様に感謝の思いが尽きません。本当にありがとうございました。

「昭和の学校」が終焉を迎え、小学校新学習指導要領の全面実施とともにICTをマストアイテム化した個別最適化された学びや、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない教育を実現すべく「令和の学校」が始まろうとしていました。そんな矢先の新型コロナウイルスの襲来により、「学校の新しい生活様式」に基づき、可能な限り感染拡大のリスクを低減させて、教育活動を実施しなければならなくなりました。

6月1日からは、従前通りの活動を復活させる「再開」だけではなく、「学校の新しい生活様式」の「開始」でもあります。単なる新型コロナウイルスの感染防止という消極的な対応ではなく、新たな学びへの変革というスタートラインに私たちは今立っています。

これからの時代に求められる学校は、知徳体を育むセーフティーネットとしての学校、誰一人取り残すことのない教育活動を推進する「力のある学校」です。その実現に向けて、まずは新型コロナウイルス感染症に関する正しい理解と、いじめや差別、偏見を許さない学校・学級風土を醸成していかなくてはなりません。また、子供たちの薄れてしまった「絆づくり」と、冷めてしまった「心の温度」を上げていかなくてはなりません。

「学級経営のゴールデンタイム」を失った極めて特異な状況で、子供たちは例年になく緊張感をもって、6月からの再開を迎えます。また、教職員の皆様や保護者の方々も生活の変化に伴い、これまで以上にストレスを抱える可能性もあります。先生方におかれましては、子供たち、保護者、そして職場の仲間に対して受容的な関わりと細心の配慮で臨んでいただき、何より皆様方が明るく元気でいられるようくれぐれも心身の健康にご留意いただければと思います。そして、家庭や地域と連携し、あらゆる手段で「子供たちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する」という観点に立って対応してください。

これからまさに「大変」ですが、考え方をかえれば「大きく変える」チャンスでもあります。既存の仕組みにとらわれず皆様の叡智を結集し、新たな学び等のモデルを構築するイノベーションのチャンスととらえ、引き続き、とっ子のために御指導をお願いいたします。

令和2年5月29日  
戸田市教育委員会  
教育長 戸ヶ崎 勤